



モアイの像とコンドルの碑



八幡川



防潮陸門閉鎖



防災訓練



寄木漁港の朝焼け



魚市場への水揚げ



カキ剥ぎ



海岸清掃「リアス・クリーン作戦」

海が教えてくれる共生の心

南三陸町は、その昔1930年、河北新報社主催によつて選定された「東北十景（海岸の部）」人気投票で第一位になったほどの美しい海岸が今なお残っている地域です。豊かな恵みをもたらすリアスの海とその自然のリズムの中で営まれる暮らしは、百年後も変わることがあつてはならない、町の財産です。南三陸町では、大切な地域資源である海の環境を守りつつ、その資源を有効に利活用するために、地域の産学官民が連携したさまざまな取り組みを進めています。

水産資源が減少し枯渇状態にある昨今、「作り育てる漁業」から「資源管理型漁業」へと変わりながら、水産資源の保護及び漁場の環境保全に努めています。県内では初の試みとして、99年に志津川湾水産資源増殖管理推進協議会を設立し、町・漁協・遊漁船業者などが一体となった活動を続けています。町の海浜高度利用センターを活用してのふ化・中間育成した稚魚放流事業や小学生の体験放流など、地域全体で取り組むその活動は、06年全国豊かな海づくり大会にて表彰されるなど全国的にも高い評価を得ています。全国でも有数の

環境学習拠点として大きな役割を果たしている「南三陸町自然環境活用センター」では、「エコカレッジ事業」として、高校生公開臨海講座や生産者と消費者が交流する市民講座の開催、自然教育プログラムなどを実施。また環境教育インターンシップ制度を創設し、指導者の養成にも取り組んでいます。こうした取り組みを積み重ねる中で、南三陸町では、基幹産業である漁業を中核として、観光業や加工業などの異業種連携により、町の海洋資源と環境を活用して、学び生産し交流する“総合的産業「海業」の確立をめざしています。

海と向き合い、海と共に生きる南三陸町の海岸沿いには十数^{オホ}に及ぶ防潮堤が築かれています。1960年のチリ地震津波により、死者41人、流失家屋326戸、被害者1万6百人、被害総額52億円超という県下最大の甚大な被害を被った南三陸町は、被災後から現在にいたるまで災害に強いまちづくりを進めています。全国でも早い84年度に「地域防災計画」を策定。95年度には総合防災システムとして、防災行政無線の戸別受信機を全世帯に配置し

災害に強いまちづくり40余年

たほか、津波潮位観測システムや津波自動警報装置を防災専用庁舎に設置するなど、防災対策に力を注いできました。

自分たちの町は自分たちの手で

近い将来、高い確率で宮城県沖地震の発生が予想されている現在は、行政的な危機管理的措置や設備システムの更なる整備を進める一方、日本海溝特措法に対応した内容で新たに策定（06年12月）した「南三陸町地域防災計画」のもと、行政組織上の危機管理体制や防災システムの確

立に努めています。06年度には防潮水門の耐震化と遠隔操作化を完了。町内80カ所の避難場所・避難所、6カ所の臨時ヘリポートの整備をはじめ、地の利がない観光客への誘導サインとなるセーフティライン、夜間点滅サインなどの設置・整備を徹底させています。町では毎年、チリ地震津波があった5月24日に町内全域で地震・津波防災訓練を実施。その規模は町民の約3分の1に近い5千人余が参加するほどで、町民の自主防災意識の高さを表しています。05年からは、負傷者の重傷度に応じて処置するトリアージ訓練や観光客誘導訓練、

夜間避難訓練、ローカル防災無線の放送など、行政区ごとに工夫を凝らした自主防災訓練が行われています。町の中心部・松原公園内にあるモアイ像とコンドルの碑は、チリ地震津波30周年を記念し、同じ被災国であるチリ共和国との友好親善を深めるために輸入設置したものです。モアイのモは「未来」、アイは「生存」を意味し、「未来に生きる」勇気のシンボルであるモアイ像は、災害を知らない世代へと語り継ぐための南三陸町の防災の象徴です。

*日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成16年法律第27号）

ALIVE南三陸

The people of Minamisanriku Town live with the fertile sea off the southern Sanriku rias coast. In order to protect our beautiful, precious sea and pass it to the coming generations, and to keep enjoying the fruits of the sea, we aim to establish a comprehensive “marinery” by making good use of our marine resources and environment in business links with the tourist industry and processing industries, centering on fishing. Further we are constructing a strong town against natural disasters.